



「未来の夢」とは何か

未来の夢とは、人道的プロジェクトや教育的プロジェクトを実施する地区やクラブをサポートするための、ロータリー財団の新しいモデルです。



未来の夢 クイックガイド

なぜ「未来の夢」が必要なのか

さらに大きな成果をもたらし、一般の認知度を高めるには、効率を高め、活動の焦点を絞る必要性が高まっています。

いつから始まるのか

2010年7月、100のロータリー地区が、3年間の試験段階への参加を開始しました。2013年7月から、世界の全地区に新モデルが適用されます。

どのような仕組みか

クラブと地区が未来の夢計画への参加に備えるための基本情報が、以下のページに説明されています。

補助金の種類

未来の夢計画の下、財団は「新地区補助金」と「グローバル補助金」の2種類を提供します。

新地区補助金

新地区補助金は、クラブと地区による地元地域や海外の差し迫ったニーズへの取り組みを支援する補助金です。地区は、年に1度、一括の補助金として、利用可能なDDF（地区財団活動資金）の50パーセントまでを申請するか、それより少ない額を申請して残りのDDFをポリオ・プラスやグローバル補助金に充てることができます。地区は、地区やクラブが提唱する活動（職業研修チーム、奨学金、人道的奉仕プロジェクトなど）を支援するための資金を管理、配分します。ただし、これらの活動はロータリー財団の使命に沿ったものでなければなりません。

グローバル補助金

グローバル補助金は、15,000～200,000米ドルを財団が支給するもので、長期的な視野から焦点を絞った、大きな影響をもたらす活動に参加するための補助金です。この種類の補助金は、大規模な人道的プロジェクト、職業研修チーム、奨学金のための資金として活用でき、これらの活動はいずれも、持続可能で、成果が測定でき、6つの重点分野のいずれかに関連したものでなければなりません。活動は、単一でも、組み合わせても構いません。例えば、1件の補助金で、職業研修チームと、それに関連する人道的プロジェクトとを組み合わせることも可能です。

クラブと地区は、独自にグローバル補助金プロジェクトを立案できるほか、協力組織とロータリー財団が合同で立案した長期的プロジェクトを支援するために、パッケージ・グラントに参加することもできます。

クラブと地区が立案するグローバル補助金

このタイプの補助金は、予算が少なくとも30,000米ドルのプロジェクトに対し、最

低15,000米ドルが、WF（国際財団活動資金）から組み合わせて（DDFに対しては100パーセント、現金に対しては50パーセント）支給されます。グローバル補助金は、2つのクラブまたは地区（実施国協同提唱者と、実施国外の援助国協同提唱者）が提唱したものでなければなりません。

補助金の計画を立てる際には、徹底したニーズ調査を行い、実施地における差し迫ったニーズは何か、問題に取り組む上でクラブや地元・現地で利用できるリソースは何かを、あらかじめ調べるのが重要です。

パッケージ・グラント

この補助金は、財団と協力組織が合同で立案するものです。協力組織とは、特定の重点分野を専門として活動する組織で、グローバル補助金プロジェクトを財政面・技術面で支援するほか、対外的な働きかけを行います。パッケージ・グラントでは、WF（国際財団活動資金）と協力組織からの資金によって100パーセント資金が調達され、ロータリアンがプロジェクトの実施にあたります。パッケージ・グラントの選択肢は、利用が可能になり次第、ウェブサイトに掲載される予定となっています。

重点分野

これまでのロータリアンの活動分野を検討した結果、財団管理委員会は、データや情報の集積によって具体的な活動成果を測ることができ、クラブと地区が最大限の成果をもたらすことができると思われる6つの重点分野を特定しました。すべてのグローバル補助金プロジェクト、奨学金、職業研修チームは、以下の重点分野のいずれかにおいて具体的目標を目指したものとする必要があります。

平和と紛争予防／紛争解決

- 地元での平和活動を強化する
- 紛争予防と仲裁に関する研修を地元のリリーダーに提供する
- 紛争地域での長期的な平和構築を支援する

- 紛争による被害を受けた弱い立場にある人々、特に子どもと青少年に援助を提供する
- 平和と紛争解決に関する研究を支援する

疾病予防と治療

- 地元の保健の専門家の能力を高める
- 主要な疾病の蔓延を防止するために、地域社会の人々を動員し、教育する
- 地域社会の医療施設を改善する
- HIV／エイズ、マラリア、その他の主要な疾病の蔓延を防止する
- 疾病の予防と治療に関連する研究を支援する

水と衛生設備

- 安全な飲料水と基礎的な衛生設備を地域社会のより多くの人々が均等に使えるようにする
- 持続的な水設備と衛生設備を開発し、管理していくための地域社会の能力を高める
- 安全な水と衛生について地域社会の人々を教育する
- 水と衛生に関する研究を支援する

母子の健康

- 5歳未満の子供たちの死亡率を減らす
- 妊婦の死亡率を減らす
- より多くの母子が、適切な訓練を受けた医療スタッフによる基本的な医療サービスを受けられるようにする
- 母子の健康に関する研究を支援する

基本的教育と識字率向上

- 子供たちが質の高い基本的教育を受けられるようにする
- 教育における性別格差を縮める
- 成人の識字率を高める
- 基本的教育と識字率向上を支援していく地域社会の能力を高める
- 基本的教育と識字率向上に関連する研究を支援する

経済と地域社会の発展

- 貧しい地域における起業家や地域社会のリーダーの育成、特に女性の発展に力を入れる
- 生産性の高い充実した仕事の機会を特に青少年のためにつくる
- 経済発展を支えるため、地元の組織の能力を構築し、地域社会のネットワークを強化する
- 経済と地域社会の発展に関連する研究を支援する

持続可能性

グローバル補助金を利用するには、プロジェクトは「持続可能」なもの、すなわち、補助金資金がすべて使用され、ロータリアンが参加しなくなった後にも、プロジェクトがもたらした影響が長期的に持続するものとしなければなりません。持続可能なプロジェクトとするには、できるだけ大勢の人々に恩恵を与え、地元の環境と文化を尊重し、ロータリー地域社会共同隊など草の根の団体からの参加を含み、地域社会の人々の考え方や知識を取り入れ、そこから学んだ教訓を将来へと生かせるものとする必要があります。グローバル補助金はまた、重点分野に関連する分野に貢献できるよう、奨学生やその他の人々を養成するものとし、新しいプロジェクトを立案する際には、現地の人々が自力で成果を上げ、問題を解決できるよう、研修と情報交換に力を入れたものとするのが重要です。

奨学金

奨学金は、新地区補助金とグローバル補助金のどちらでも利用可能です。新地区補助金の場合、奨学金の資格、金額、レベル（大学、大学院）、期間、専攻分野といった条件は地区が独自に設定します。また、大学も、海外の大学である必要はありません。

グローバル補助金の場合には、海外の大学院レベルに留学することが条件であり、重点分野のいずれかに関連する専攻分野

で、1～4年間の研究に従事する奨学生を支援します。奨学金のためのグローバル補助金申請書を提出する時点で、クラブや地区は、奨学金申請者が大学から入学許可を得ていることの証明を提出しなければなりません。さらに、指定された教育機関での授業が自分の母国語以外の言語で行われている場合には、申請者は、財団が指定した語学試験の結果（財団が基準とする点数を上回るもの）を提出しなければなりません。ただし、グローバル補助金の提案書の提出時には、入学許可の証明と語学試験の結果を提出する必要はありません。

職業研修チーム

職業研修チームは、新地区補助金とグローバル補助金のどちらも利用可能です。新地区補助金を利用するチームは、研究グループ交換と似ていますが、参加者の年齢や交換期間の制限がないという点で異なっています。

グローバル補助金を利用するチームは、海外へ赴き、重点分野に関連する問題に取り組んだり、その取り組み方法を学んだりします。一つのチームは、ロータリアンのチームリーダー最低1名、およびロータリアン以外の参加者最低3名から成ります。チームの人数に上限はなく、参加年齢の制限もありませんが、一つのチームに属する全参加者は、補助金の目標と関連する職能や経験を備えている必要があります。

研修の実施期間に制限はなく、補助金の目標にふさわしいさまざまな場所（大学、病院、企業など）で行うことができます。チームは、ロータリアンの自宅、大学寮、ホテルに滞在します。1件の補助金で複数のチームを派遣することもできます。研修チームの費用は、グローバル補助金のプロジェクト総費用の最低限度である30,000米ドルを満たさなければなりません。これには、チームメンバーにかかる費用に加え、そのほかこの補助金に関連する活動すべての費用も含まれます。





参加資格と資金管理

地区が行うべきこと

新地区補助金とグローバル補助金を使って活動するには、毎年、地区がオンラインの資格認定プロセスを完了し、地区の覚書（MOU）に記載された財務と資金管理の方針と要件に従うことに同意しなければなりません。さらに地区は、クラブの参加資格認定プロセスの一環として、ロータリー財団補助金管理セミナーを実施する必要があります。

補助金の資金を慎重に管理する責任は、地区にあります。補助金の受領者には、以下が求められています。

- 綿密に活動を計画する
- 必要書類と、正確かつ不備のない申請書を提出する
- プロジェクトにロータリアンが直接的に参加する
- すべての財務処理において透明性を保つ
- 期日通りに不備のない報告書を提出する

クラブが行うべきこと

グローバル補助金を受領するには、クラブも、毎年、資格認定プロセスを完了する必要があります。クラブが参加資格を得るには、1名以上の会員をクラブから地区ロータリー財団補助金管理セミナーに派遣し、クラブの覚書（MOU）に署名した上でこれを順守し、それ以外に地区が定めた追加要件を満たさなくてはなりません。クラブはまた、地区と同じく、上記の資金管理の要件を果たす必要があります。

補助金申請プロセス

新地区補助金とグローバル補助金の申請書はすべて、www.rotary.org/jaの「会員アクセス」を通じてオンラインで提出します。新地区補助金は、補助金活動の計画と申請を中心とした1年目と、支給と実施が行われる2年目の、2年間の周期モデルに沿って運営されます。

グローバル補助金を申請する場合、まずオンラインで提案書を提出する必要があります。この提案書の内容を基に、財団は活動が受領資格を満たすものかどうかを確認し、受領資格に合わないものがあれば、提唱者に修正を求めたり、助言したりします。提案書が承認され次第、本格的な補助金申請書を提出するよう、財団から提唱者に通知されます。提案書と申請書は、年度中、いつでも受け付けています。

申請書は、提案書が承認された後、6カ月以内に（不備のない形で）提出しなければなりません。

報告

地区は、新地区補助金の受領後、12カ月以内に、財団および地区内全クラブに対し、補助金資金の配分先を示した報告書を提出しなければなりません。グローバル補助金の提唱者は、補助金プロジェクトの続く間は12カ月ごとに進捗報告書を、プロジェクトが完了したら2カ月以内に最終報告書を提出することが義務づけられています。

研修とリソース

2012-13年度中、試験地区でない地区のガバナー・エレクトと次期地区ロータリー財団委員長を対象に、参加資格認定、申請プロセス、報告要件に関する研修が行われます。

未来の夢の補助金に関するご質問のある方、および月刊「未来の夢試験段階のニュースレター」の受信をご希望の方は、www.rotary.org/ja/futurevisionをご参照ください。

